

児童発達支援事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 4年 2月 16日

公表: 令和 4年 2月 25日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス  
すまいるみつけ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		少人数の活動ができる(4室)	同じ活動名でも発達によって段階が異なるため小グループで提供します。また、大きい児童の見本が必要な時は一緒に行う場合もあります。
	2	職員の配置数は適切である	100%		有資格者・経験を積んでいる	個別・集団など同時に提供できるように工夫しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%		階段の手すり・転倒防止柵 死角のないスペース	各部屋の段差は最小限に改修しました。また、今後の利用児の様子によっては改修することもあります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%		静的・動的・保育室を設けている。 園庭には大型遊具設置	施設内において抗菌・抗ウイルス・防臭のコーティング済 随時 消毒に努めています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		コロナ終息後外部講師により専門的な体験・経験する機会を提供(習字・英語など)	ニーズの把握と職員間の連絡(報連相)の充実に重点を置きます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			コロナの影響により改善されたとは言いきれないが今後も努力します。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			全利用保護者様に配布の上、ホームページに公表します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		100%		今後実施する予定です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		週2~3回に1回施設内研修の時間を設定されている	今後も継続します。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%		保護者と面談及び聞き取りしながらニーズの把握に努めている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%			各ニーズを聞き取りながら支援に反映されるように努めています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%		記録用紙に評価できるように工夫している	利用時に評価しやすく(支援されているか)支援内容を記載して振り返ることができるようにしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		翌月の支援計画を検討立案する時間を設けている	令和3年度はコロナにて控えましたが、保護者様に保育内容・ビジョントレーニング・SST・ペアレント等どんな内容なのかを参観日などを通して理解につながる機会を設けることが必要と考えます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		当日のグルー分けなど保育内容を職員動詞で確認している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%		ニーズに合わせて実施している。個別のファイルを各用意している	当法人の方針として職員のスキルアップするために研修参加⇒施設内研修・OJTの育成に努めています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		退勤時間内に打ち合わせの時間を設けている	パート職員の確認できるように月案に基づいて日案作成しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		翌日の打ち合わせ時行っている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		記録用を支援内容に沿って工夫している	日々支援内容に沿っているか職員の振り返りもできるように努めています。
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%		保護者との聞き取り面談相談内容により随時支援内容の見直しを行っている	今後も継続します。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%		児童発達支援管理責任者その他の職員も同行している	管理者のみでなく通常関わっている人へのスキルも上げるために参加する経験が必要と考えています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%		連携会議等において積極的に参加している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当利用児がない	今後、利用希望があり受け入れ可能の場合は連携は必須と考えています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		必要に応じて行っている	各機関へ送迎時、担当の先生からその日の情報を得ています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%			支援内容の統一化を図るために情報収集に努めています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%		必要に応じて受けています	連携会議時参考にすることが多いです。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		100%	利用時全員が認定こども園・幼稚園併用して利用している。	ニーズに対して必要に応じて対応していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		100%		案内がありましたら出席しています。多機能への案内は不明瞭です。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%			今後も相談しやすい環境に努めます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%		子育ての不安や悩みは随時個別で対応している。	保護者の不安は早急に軽減及び解決できるように配慮しています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%			今後も詳しくわかりやすいように説明に努めます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%			今後も詳しくわかりやすいように説明に努めます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		連絡ノート・Tel・送迎時の相談に答えている	悩みや不安は早急に軽減及び解決につなげるように配慮しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		100%	先輩の話や聴く機会は少人数で企画している。(2人位)	コロナにより大々的に企画することはできませんでしたが今後は勉強会や情報提供ができる機会を設けるように努めます。保護者様に負担がかかるため保護者会の結成はしておりません。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%		苦情要望については必ず文章等に置き換え返答している。また、相談できるように配慮している。	相談しやすい環境に配慮しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		月のお便りを配布している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%		職員への周知徹底に努めている。	お便りなどにおいて(写真)表情を出さないようにしています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		利用時の様子を連絡ノートに記載している	情報伝達は個々に情報収集するように努めています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		100%	コロナにより実施できませんでしたが近隣の方々への挨拶及び講師を依頼しているホームページにより情報発信する。	地域には老人の皆さまですので、趣味を生かして子供たちに係る機会を設ける予定です。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%		色々な災害を想定して実施している	地震・火災等実施して連絡帳、お便りなどに記載しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		色々な災害を想定して実施している	実施時連絡帳及び月のお便りに掲載しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%		症状など職員全員が確認できるように掲示している	保護者との連携に努めています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		アレルギー調査票配布	ナナS在籍栄養士のアドバイスを受け配慮しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		ヒヤリハットは事故防止につながる重要なものである意識を持っている	ヒヤリハット記載しても評価しないことを伝えていません。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		定期的な施設内研修実施	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%			危険行為及び問題行動をする児の支援内容は密に保護者と密に話し合い関わり方の統一を図ることに重点を置いています。(ペアレント)

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。